

九州新幹線の全線開業に向けて



九州新幹線全線開業を 天草浮揚のチャンスに

天草市長 安田公寛

平成23年春、いよいよ待ちに待った九州新幹線鹿児島ルートが全線開業します。熊本はもちろん九州全体の経済に大きなインパクトを与えるものと大きな期待が寄せられていますが、新幹線の沿線と沿線外の地域間競争や沿線地域による都市間競争にこれまで以上に拍車がかかるものと思われます。

熊本が観光客を含めた人や物流の単なる通過点になってしまうのか、あるいは九州の中心として存在感を保てるかどうかは、熊本を代表する観光地である海の天草と山の阿蘇、この大きな横軸が「熊本観光の魅力」を高められるかどうか、鍵を握っていると言っても過言ではないと思います。

そのためには、観光客の皆さんの目線に立った導線・ニーズ等をしっかり念頭において、交通網を含む観光基盤の整備や豊かな地域資源を活用した受け皿づくり、地域が一体となった人情味あふれるおもてなしなど、受け入れ態勢の整備を充実し、九州地域以外へ天草のさまざまな魅力や情報を発信していかなければなりません。

この九州新幹線全線開業は、九州経済の活性化を担うものとして大きな期待が寄せられておりますので、島民一丸となって、天草浮揚の一大チャンスに変えていきましょう。

平成23年3月、「九州新幹線」の全線開業に向けて、天草への誘客を促進するため、さなざまな取り組みを実施します。

『日本の宝島』が持つ観光資源を十分にいかしながら、さらに魅力ある観光地として発展させ交流人口を増やすことで、天草地域の活性化を目指すものです。今号では、その概要についてお知らせします。

1 交流人口を呼び込む導線の整備

①天草島内周遊チケット等の発行事業

- 天草ぐるっ〜と周遊チケット…「天草エアラン」の航空券＋観光周遊バスの乗車券＋観光施設の入場券＋温泉入浴券」セットチケットの販売を拡大。
- 天草満喫チケット…「観光施設の入場券＋温泉入浴券」をセットにしたチケットの販売。

②天草宝島観光DVD製作事業

- 天草地域が保有する魅力的な観光素材「自然景観」や「イルカウォッチング」「南蛮文化」「イベント」「食」「温泉」などを組み合わせた観光PR用DVDを製作し、JRや船（天草宝島ライン等）、バスなど、天草へ移動中の空き時間対策として車内や船内で放送してもらうほか、旅行エージェントへの配布や観光イベントでの放映、インターネットを活用した動画配信など、観光客誘致のツールとしても活用。

③島内周遊バス「天草ぐるっと周遊バス」の運行

- 公共交通機関を使って訪れた観光客が、容易に

各観光地にアクセスできるようバスや船（天草宝島ライン）との接続を考慮した島内周遊バス“天草ぐるっと周遊バス”を運行（平成21年10月から、3コース、土・日曜日・祝日）しているが、新幹線全線開業によりその需要拡大が見込まれるため、本年10月からは、毎日運行を実施する。また、周遊バスに同乗する観光バスガイドの養成を行う。

④本渡市街地循環バス「のってみゅうカー」の運行

- 市民の生活の足と、観光客の二次交通を確保するため、昨年10月から市中心街である本渡地域を周遊する循環バス「のってみゅうカー」の運行を開始。9月からコースを延伸（南部エリアの追加）する。

⑤出水天草間交通アクセス導入等事業

- 鹿児島県の出水駅～蔵之元港間のシャトルバスの運行や牛深港を起点とした島内周遊バスの運行により、天草地域の観光振興と日常生活における移動の利便性向上を図る。

⑥船の旅“天草”構築事業

- 鉄道（JR三角線）と船（天草宝島ライン）を組み合わせた全国的にもまれな移動手段により、移動時間を短縮し旅行者が楽しめるようにすることで、天草地域への観光客を増大させる。

⑦観光タクシーの運行

- 観光客の多様なニーズに対応できる二次交通網として、天草の観光地を巡る観光タクシープランを設定する。

⑧日本風景街道登録推進（天草西海岸サンセット・イルカライン）

- 「天草西海岸サンセット・イルカライン」の日本風景街道への登録を推進し、観光客が移動中でも楽しめる導線を確保する。

※日本風景街道＝風景街道地方協議会が「多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を生かした質の高い風景を形成し、もって、地域活性化、観光振興に寄与する」ことを目的に認定・登録。全国で110カ所（九州では9カ所）が登録されており、県では

九州横断道「阿蘇くまもと路」のみ。

⑨JR三角線を活用したPR

- JR三角線の高速化を要望していくとともに、JR三角線をPRツールの一つと考え、“ラッピングトレイン”を運行していく。

⑩三角線における「菜の花列車（仮称）」運行事業

- 本市が取り組む「菜の花プロジェクト（廃食用油を回収しBDF〔バイオディーゼル燃料〕を製造・使用する）」を市内外に広く浸透させるため、JR三角線で運行される「菜の花列車（仮称）」への利活用により、「環境にやさしい天草」の取り組みをアピールするとともに、JR三角線の利用促進による天草への交流人口増にもつなげていく。

⑪観光案内看板の整備

- 本市（天草地域）を訪れる観光客の利便性向上と天草観光のイメージアップを図るため、目的地へ円滑に移動できる「観光案内看板」を整備する。